



# 『組織に対する思い(雑感)』

三島税務署

署長 山下和晃



三島税務署は、国税庁創設と同じ昭和24年に設置され今年で70周年を迎えており、私でちょうど50代目の署長となります。

署長室には、歴代署長の名札が横一列に並んでいますが、適って見えてきます。と、国税局等で同動し直接指導を受けた方から始まって、いわゆるキャリア組も含めた錚々たる方々が名を

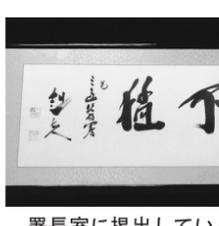
連ねており、改めて自らの職責の重さ(自信のなさ)を感ずる不安と言った方がいいかもしれません。を感じるとともに、それぞれの時代における環境の変化に応じて、困難な課題を乗り越えながら財政の基盤を支えてきた組織の強靱さと先輩方の労苦に対して思いを馳せています。

そして近年においても、経済社会におけるICT化やグローバル化、シェアリングエコノミー等の新分野の経済活動の発展のほか、10月からの消費税率の引上げ及び軽減税率制度の実施といった大きな制度改正など、税務行政を取り巻く環境は激しく変化しています。

そのような時代にあっても、私ども国税組織は、新たな課題に的確に対応しつつ、引き続き「納税者の自

発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という使命を果たし、納税者の皆様からの理解と信頼を得ていくために、納税者サービスの充実と調査・徴収の効率化・高度化に向けた業務改革とインフラ整備を進めながら、「税務行政のスマート化」に取り組んでいます。

ちなみに、署長室には、もうひとつ私の目を引くものがあります。初代署長の頃から壁に掛かっている『威而不猛』との書で、「いありて、たけからず」と読み、「税務職員は威厳を帯びて仕事をしなさい。ただし威張ってはいけない」という、旧大蔵省の大先輩の教えです。昔は横柄な態度で威張り散らすような職員が少なくなかったのかな、などと勝手に想像しながらも、強い調査権限



署長室に掲出している「威而不猛」の書

を有しています。個人のな思い入れを込めて率直に申し上げれば、このような大きな組織にもかかわらず、末端の職員に至るまで、課題と情報をスピーディーに共有し、定められた法令と運営方針に一糸乱れず忠実に従い、膨大なデータと調査権を適切に活用・行使し、時には職人的な感覚をも駆使しつつ、さらには調査情報等を外部に漏らすことなく、経済社会や制度の変化に著実に対応しながら調査・徴収のパフォーマンスを発揮していくことは、決して簡単ではないと思っています。組織の一員である私から見ても「凄く組織力だ」と感じます。

そしてそれは、組織を構成する職員一人ひとりの使命感と現場力によって支えられているのであって、現場の第一線である税務署を運営する署長としては、職員が高い志を維持しながら能力を十分に発揮できる職場環境づくりはもちろんです。一部職員の不適切な行為で組織の信用を失墜させるような事態にならないよう、非行事件の根絶を図るとともに、組織の将来



署長室にある歴代署長の名札

## 防災防全国大会 三島分会では大仁建設の 土屋正氏に功績賞

三島分会では大仁建設の土屋正氏に功績賞



土屋 正氏

第56回全国建設業労働災害防止大会が9月26日と27日の2日間、全国から関係者約4700人が参加する中、福岡県博多市の福岡国際センターで開かれ、三島分会からは8人が出席し労働災害絶無に向け心を新たにしました。

表彰式では、三島分会より大仁建設の土屋正氏が個人賞として功績賞の栄誉に輝いた。

## 大場建設が支部長表彰

大場建設が支部長表彰

勤労者退職金共済機構では毎年10月を「建退共加入促進強化月間」と定め、事業の推進を図っている。この度、この加入促進月間にちなみ、三建会員の大会場建設が共済契約の普及徹底、加入促進と建設労働者の福祉の増進に寄与した功績が認められ、同機構建退共済岡山支部長より表彰の栄誉に輝いた。

同社に対する伝達式は10月3日に開催された三建の役員会に先立ち行われ、小野徹会長が大場建設の杉山潔社長に表彰状を手渡した。



杉山 潔氏

## 伊豆総合高校のインターンシップに協力 車いす生徒が設計学ぶ

伊豆総合高校のインターンシップに協力

三島建設業協会労働委員会(高島勝委員長)は10月16〜18日の3日間、静岡県立伊豆総合高等学校のインターンシップに協力し、工業科建築デザイン類型2年生の男子生徒22人を9班に分け、加和太建設、小野建設、大場建設、山本建設、中林建設、駿豆建設、土屋建設、中豆建設、イズケン建設、中豆建設、イズケン建設の9社で受け入れた。今年度のインターンシップでは車いす生徒も受け入れ、山本建設で設計や積算などを学んだ。山本平良さんは自転車競技の練習を終えた帰宅途中、交通事故に遭い車いす生活を余儀なくされたが、今は「パラサイクリングでパラリンピックを目指したい」と夢を持っている。建築が好きで高校卒業後は建設会社への就職



住宅の図面作成に挑戦する山木さん

小野建設で実習した生徒2人は、ともに将来は「建築関係の仕事に就きたい」と語り、1人は「中学校の技術の時間にもものづくりの楽しさを知った。いろいろ調べて建築に興味を持った」、もう1人は「祖父も父も建築系の仕事で影響を受けた。将来は自分もやってみよう」と話していた。

## 日本平夢テラス等を見学

日本平夢テラス等を見学

三島建設業協会建築委員会(森勲委員長)は9月27日、静岡県建築士会東部ブロック、静岡県建築士事務所協会東部支部と合同で見学会を開き、総勢20人が参加した。

当日は平成30年11月にオープンした「日本平夢テラス」を訪れ、県交通基盤部管轄工事課の白鳥真嗣副部長から工事概況の説明を受けた後、県産材をふんだんに使い、高い鉄骨精度と木架構の匠の技術を融合させた3階建ての建築物を熱心に視察した。

その後、次郎長生家や清水湊の中心であった地区に移動し、点在している蔵や旧廻船問屋などを見学した。

交流会では互いに親睦を深めた。



親睦を深めた。

## 建設業に対する 労働時間等説明会開く

建設業に対する労働時間等説明会開く

三島建設業協会(小野徹会長)は10月8日、三建大会議室で働き方改革の取り組みとして「建設業に対する冒頭、あいさつに立った小野会長は、「私たちが建設業にとっても本気で働き方改革を進めなければ他産業から後れを取ることになり、担い手は集まらず、建設業の存続にも関わる」と訴えた。また、「建設業の担い手不足は深刻で、その原因が他産業に比べ年間出勤日数が多いこと、年



間実労働時間が長いこと、それを何とかしようと、これまで例外とされてきた建設業に対して、労働基準法の時間外労働規制が適用されることになった。今日の説明会が有意義なものとなるよう祈念している」と述べた。

説明会では、三島労働基準監督署の高橋知裕副署長と小島亮士第一方面主任監督官が「建設業はしっかり働き、しっかり休む、働き改革で人材確保」と、県交通基盤部建設支援局の井口真彦建設業課長が「建設業における働き方改革の取り組み」と題して講話した。

閉会に当たり、三建労働委員会の高島勝委員長が講師に対し謝辞を述べた。

電気設備工事  
設計施工

株式会社ダイナナ  
代表取締役社長 内田 豪  
本社 三島市梅名371-2  
電話(055)977-3511(代)  
熱海営業所・厚木支店

---

大野電機工業株式会社  
代表取締役 大野 文男  
三島市南二日町24-27 電話(055)975-1040(代)

---

近和電業株式会社  
代表取締役 今瀬 誠  
支社 静岡県三島市平成台8番地  
TEL(055)986-5211(代)  
静岡本社・東京支社

鉄骨のご用命は当社へ

国土交通大臣認定工場Mグレード

株式会社 大城工業  
代表取締役 大城 英一  
住所 伊豆の国市神島49-1 〒410-2325  
TEL 0558(76)-3299  
FAX 0558(76)-5007

---

マンション計画修繕工事  
調査診断・改修工事、保全まで

責任施工・工業会会員

- ・コニシバシステム工業会会員
- ・全国ハーゲン防水美装工業会会員
- ・イサムエラストマー会会員
- ・リポールマイティ工業会会員

株式会社 トミック  
静岡県三島市川原ヶ谷230番地の3  
TEL 055-973-2056 FAX 055-973-2076

生コンの御用命は下記の会社をご利用下さい

熱海生コンクリート販売協同組合  
事務所 伊東市吉田字長畑道上1026-37 電話(0557)44-4411

組合員

- 真鶴生コンクリート(株) 神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴1898 TEL(0465)68-1171
- 株式会社サキ工業生コン工場 伊東市萩3955 TEL(0557)37-8585
- 株式会社しょうじ建設函南生コン 田方郡函南町軽井沢226-1 TEL(055)974-0226
- 株式会社新明通産 伊東市吉田字長畑道上1026-37 TEL(0557)45-3433
- 野村マテリアルプロダクツ(株) 湯河原工場 熱海市曾我山1993 TEL(0557)82-1244
- 野村マテリアルプロダクツ(株) 新野村工場 伊東市吉田字長畑道上1026-37 TEL(0557)45-1366
- 野村マテリアルプロダクツ(株) 熱海工場 熱海市曾我山1993 TEL(0557)82-1244
- 稲村生コンクリート(株) 熱海市上多賀457-1 TEL(0557)68-1621
- 株式会社富士宇部 東伊豆工場 賀茂郡東伊豆町稲取2230-1 TEL(0557)95-3168



